

# 博物館資料論

自由

開講年次：3年次前期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：博物館資料の収集、保存・管理、調査研究、展示は博物館活動の基幹業務である。本講義では、これらについて理念と方法を学び、博物館資料の概念を明確にし、博物館活動の基本について理解を図る。前半は美術館資料、後半は考古学資料について学ぶ。

■**到達目標**：博物館学芸員資格保持者にとって文化財保護にいかなる貢献ができ、そのために何をすべきかを習得することを目的とする。

- ①博物館資料の重要性を知る。
- ②美術館資料に関する情報処理とその利用、および資料の保存・管理と公開について熟知する。
- ③考古学資料の情報処理とその利用、保存管理と公開の問題を通じて、博物館の意義を熟知する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎岩崎 直人、小野 裕子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 美術館における資料の意義
- 第3回 美術館資料のドキュメンテーション
- 第4回 美術館資料のデータベース
- 第5回 美術館資料の取り扱い
- 第6回 美術館資料の保存環境
- 第7回 美術館資料をめぐる権利I
- 第8回 美術館資料をめぐる権利II
- 第9回 考古学資料の特質I（資料の特質・他分野との相違点と共通性を理解する）
- 第10回 考古学資料の収集（資料収集の種類と方法を理解する）
- 第11回 考古学資料の整理I（資料に応じたクリーニング方法とその復元方法を理解する）
- 第12回 考古学資料の整理II（資料に応じた分類方法とその記録方法を理解する）
- 第13回 考古学資料の保管（資料の特性に応じた保管方法と管理上の利便性を理解する）
- 第14回 考古学資料の展示（何をどう展示するか、展示の意義とシナリオの必要性を理解する）
- 第15回 考古学資料の活用（資料は誰の物か？誰が、なぜ守るのか？）

■**教科書**：使用しない（講義に関するプリントを毎回配付）

■**参考文献**：大堀哲・水嶋英治編（2012）『博物館学I 博物館概論\*博物館資料論（新博物館学教科書）』,学文社:東京。(ISBN: 978-4-7620-2284-5)

矢野興一（2016）『見る目が変わる博物館の楽しみ方』,ベレ出版:東京。(ISBN: 978-4-86064-490-1)

■**成績評価基準と方法**：レポート80%、授業態度20%。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
レポート、課題	◎	◎	◎	理解度の高さが窺われるレポート、および課題に対する真摯な姿勢	80
出席数、授業態度	○	○	○		20

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：博物館概論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：博物館のための表現者としてのデザイナーを目指すなら、様々な博物館資料の特色とその取り扱いを一通り学び、その上で、博物館の歴史的・社会的役割を理解することが必要です。他大学では珍しい分野別の講師陣を揃えた層の厚い講義が待っています。積極的な受講・取り組みを期待します。